

第87回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日時 令和5年5月29日（月）14:00～14:47
場所 国立歴史民俗博物館 大会議室（Zoom会議との併用）
出席者〔館外運営会議委員〕
市澤委員（副議長）、梅崎委員（Zoom出席）、江村委員、小澤委員（Zoom出席）、
木川委員、木下委員（Zoom出席）、坂上委員、鈴木委員（Zoom出席）、バートン
委員（Zoom出席）、村上委員（Zoom出席）
〔館内運営会議委員〕
山田委員（議長）、関沢委員、小倉委員、坂本委員、高田委員、松木委員、
大久保委員、林部委員、日高委員、三上委員
欠席者 徳丸委員
陪席者 館長、管理部長、総務課長、財務課長、研究協力課長、博物館事業課長、
総務企画係、人事係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

総務課長から、出席委員20名により本会議が成立している旨報告があり、併せて配付資料の確認が行われた。

○議 事

（1）前回議事要旨確認

山田議長から、資料1-1～3に基づき、前回（令和5年3月16日開催第84回国立歴史民俗博物館運営会議、今年度1回目の書面審議の第85回国立歴史民俗博物館運営会議、2回目の書面審議の第86回国立歴史民俗博物館運営会議）議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

（2）審議事項

①次期館長候補者の選考について

山田議長から発議があり、渡邊総務課長から資料2-1～7に基づき、館長選考に関する日程及び関連規程、事務手続き等について、今回から適任者への意思確認を行うことになったため、従来より推薦の期間が短くなった旨説明があった。

木川委員から、推薦書と一緒に略歴書も提出する場合、略歴書の現住所等の個人情報も記入しなければならないのかとの質問があり、渡邊総務課長から、現住所がわからない場合は、空欄でも構わないとの回答があった。

坂上委員から、適任者に意思確認をしたうえで、さらに次期館長候補者の就任意思確認を行う理由について質問があり、山田議長から、直近の健康状態等の最終確認の意味もある旨回答があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

②教員公募要項（案）について

・教員公募要項（近現代史）（案）について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料3に基づき、教員公募要項（近現代史）（案）について説明があった。

審議の結果、質問等は無く、原案どおり承認された。

(3) 報告事項

①教員候補者選考委員会報告

- ・非常勤研究員の採用について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料4に基づき、プロジェクト研究員2名の採用について報告があった。

②歴博の活動状況について

- ・歴博の活動状況について

山田議長から、資料5をご覧ください、質問等があればお受けしたい旨発言があった。

木下委員から、資料5の山川出版社発行の高校教科書『詳細 日本史探求』の記述内容に歴博の炭素14年代測定による研究成果が反映されたことがたいへん喜ばしいことであるとの発言があった。

市澤副議長から、歴博の企画展示「いにしえが、好き！ー近世好古図録の文化誌ー」の内容に関連した吉田家に関する市民向けの講演会が4月1日に神戸市で開催されて、好評を博し、当該企画展示の巡回展示を求める声も寄せられたことなど、地域社会に刺激を与えた企画展示であったとの発言があった。

(4) その他

特になし。

(5) 館長挨拶

西谷館長から、今年4月に採用された研究部・管理部職員について、当館では初の試みとなる研究部・管理部合同の新任職員対象の研修を実施したこと。また、新型コロナウイルス感染症が収束に向かうことで、今後新たな社会問題が浮上してくることを懸念しているとの発言があった。